

健康日本2 1 清須計画（第2次）及び清須市自殺対策計画に関する実務者会議報告書

1. 日 時 令和元年 11 月 13 日（水）午後 3 時～5 時

2. 場 所 南館 3 階 大会議室

3. 参加者 庁内 22 課^{※1}、社会福祉協議会^{※2}及び清須保健所 実務者 33 人

※1 人事秘書課、財政課、税務課、収納課、保険年金課、西枇杷島 S C、社会福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、土木課、都市計画課、上下水道課、新清洲駅周辺まちづくり課、会計課、議事調査課、学校教育課、生涯学習課、スポーツ課、学校給食センター管理事務所、監査課、健康推進課

※2 総務地域課地域福祉係、地域包括支援センター、障がい者サポート支援センター清須清須保健所 総務企画課

欠席 企画部 企画政策課

総務部 防災行政課

市民環境部 市民課、清洲 S C、春日 S C、生活環境課、産業課

4. 会議内容 [進行 高木]

1) あいさつ [課長 佐古]

2) 健康日本2 1 清須計画（第2次）について [担当 本田]

(1) 健康日本2 1 清須計画（第2次）中間評価概要（概要版）

(2) 清須市の健康づくりに関するとりくみ（資料1）

(3) 健康日本2 1 清須計画（第2次）の体系（資料2）

3) 清須市自殺対策計画について [担当 舟橋]

(1) 清須市自殺対策計画の概要（概要版）

(2) 清須市自殺対策計画の体系（資料3）

4) グループワーク：各課のとりくみを考える（資料4）

[各グループファシリテーター担当 佐古課長、舟橋係長、本田、西村、堀]

① 自殺対策計画または自殺対策について、課で取り組んでいることや話し合ったこと

- ・ 孤立させないような居場所づくり
- ・ 孤立しないように民生委員やボランティア等と連携し、家庭訪問や見守り実施
- ・ 地域に開かれた形で活動できるようにボランティア団体の支援
- ・ トイレや公園など人の目につきやすい場所に相談窓口や連絡先などの啓発
- ・ 歩道橋の架け替え時には、手すりを高くする。
- ・ 医療費の負担、生活困窮者への貸付等
- ・ 育メン、ノー残業デーなど推奨されているが、現実にはギャップ→職場の理解、風潮
- ・ 職員の内部研修を実施しスキルアップする→ゲートキーパー、傾聴、メンタルヘルス
- ・ 立ち退き、納税等、担当課の業務上、市民の生活を追い込んでしまうこともあるため対応に配慮している。
- ・ 指導とパワハラの一線が難しい。
- ・ 事案によっては、担当課で抱え込まず、他課やNPO団体等より専門的な団体との連携→他課や他団体の業務内容を把握しておく。

②職場のメンタルヘルスについて、貴機関又は個人で心がけていること

- ・あいさつ、笑い、話しやすい雰囲気づくり、活発なコミュニケーション
- ・ストレスチェックを実施、必要により産業医相談の活用
- ・年休や残業の状況に確認し、職員間の偏りがいないか確認
- ・朝礼を活用し、普段との様子の違いを早い段階で気づく（言葉数、表情等）
- ・担当係で事案を抱え込まず、課内で調整

【総評】 愛知県精神保健福祉センター 保健福祉課長 立松 敏子氏

- ・資料 2・3 より全庁的に取り組まれていて素晴らしい
- ・支援する場合、時間がかかっても、緩い関係でもいいから、顔の見える関係を作り、継続していくことが大切
- ・地域のつながりが大切。町内行事に不参加でも、あいさつで緩くつながる。
- ・物理的な環境づくり（あいさつや休暇）を上司から実践する。
- ・休んで元気になれない人もいるが、メンタルヘルスには必要
- ・支援者側のフォローも必要
- ・自分が気楽に過ごせる居場所づくり（喫茶店でも散歩でも、休められる所ならどこでも良い）が大切
- ・自殺への社会の偏見があるのか、自分のこととして考えにくい。この偏見を少なくしていくのが、私たちの役割。メンタルヘルス的に休むことは言い訳ではない。
- ・心の視野狭窄、自殺以外に自分の居場所がない、選択がない、と思ってしまう。
- ・声をかけ合い、孤立させない、その人に関心を示す。
- ・グループワークを通じ、職員のスキルアップに努め、各課の職務を知っておくこと
- ・相談を受けた時は、その人の気持ちに添って受け止めること

5. 従事者の意見・感想

- ・会議の対象が主任主査以上のため、課のキーマンとなっており、発言力がある。
- ・自殺願望のある人の生活背景など事情がわかりにくいために、アンケート結果など、現状理解を深める内容も入れたほうがよい。
- ・業務によっては、市民を追い詰める結果になることもある。職務上、仕方ないこともあるが、職員のメンタルヘルスも心配
- ・自殺対策から職員のメンタルヘルスのことも考えられるため、若い職員を対象にした場合の意見も聞いてみたい。
- ・自殺対策と関連している業務の担当課から、業務内容、現状等を報告してもらい、市役所業務の理解を深める。
- ・予算時期は避けるなど、実務者会議の開催時期を検討する。

